

第 172 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 4 年 8 月 4 日（木）11:00～11:30

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

・会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

<議題事項>

- ◇ BA.5 対策強化宣言等について議論した結果、8/31 まで BA.5 対策強化地域の指定を国と協議することを決定した。

1 参加者

玉城 知事、池田 副知事、島袋 政策調整監、嘉数 知事公室長、
宮城 総務部長、儀間 企画部長、多良間 環境企画統括監、宮平 子ども生活福祉部長、
糸数 保健医療部長、前門 農業振興統括監、松永 商工労働部長、
宮城 文化観光スポーツ部長、島袋 土木建築部長、名渡山 会計管理者、
半嶺 教育長、我那覇 病院事業局長、長濱 企画統括監、
県警 平良 警備第二課次席 宮里 感染対策統括監、
高山 政策参与、テレビ会議システム利用：木村 宮古保健所長、比嘉 八重山保健所長

欠席：照屋 副知事

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から警戒レベル判断指標等の状況について報告があった。
 - ✓ 判断指標の項目である人口 10 万人あたりの新規陽性者数、病床使用率、重症者用病床使用率は高い状態で推移している。
 - ✓ 圏域別の状況では、沖縄県全体では 80%を超え、本島に限れば 98%を超える状況となっている。新規陽性者数 7 日間合計前週比では、県全体や本島で見ると 1 を上回っているが、宮古、八重山では 1 を下回っており、この地域では感染の拡大が少し弱まっている様子が見られる。

(2) 県立病院の状況について

➤ 病院事業局より県立病院の状況について報告

- ✓ 入院患者数の内訳は、北部病院 37 名、中部病院 51 名、南部医療センター22 名、宮古病院 15 名、八重山病院 16 名、精和病院 26 名となっている。北部、八重山地区で減少傾向が見られる。
- ✓ 南部医療センターでは、ICU にコロナ挿管患者がおり ICU は非コロナ患者を押し出し、予定手術をキャンセルしベッドを確保した。現在は心臓手術も再開している。8/2 に時間外の一次救急停止を発表したが、意外に混乱はなかった。
- ✓ 宮古病院では、7/21 に発生した2件のクラスターは感染者全員が回復し終息したものの、新たなクラスター発生の可能性があり。昨日、市長、保健所長と一緒に記者会見を行い、病院逼迫と一人一人の行動変容を島民に要請した。
- ✓ 県立病院の休業者は 376 名と過去最大になっている。

(3) 宮古・八重山地域の感染状況について

➤ 宮古地方本部から宮古地域の感染状況等について報告。

- ✓ 前週比 0.86 倍となっており、減少傾向。傾向としては毎回と同じ。
- ✓ 60 歳以上は 20%前後とほぼ横ばい。
- ✓ 陽性者の発生した施設は 33~5 件となっており、施設での療養者は 57 名人口比にすると 1,500 名前後。
- ✓ クラスターが発生率は 9.6%。
- ✓ 保健所の体制としては、7/25 から窓口を閉めており、8/19 まで延長の予定。県からの派遣 1 名、市からの派遣 1 名減となっている。県の保健師が 1 名コロナ陽性となり、急遽看護大から派遣していただき感謝申し上げます。
- ✓ 電話での対応は 1 日 250 件程度対応できている。前々週が 136 件だったため、

84%ほど上昇。

- ✓ 先週の観光協会との意見交換の場で、陽性者が出た場合は協力していきたいとのこと。また、県からの方針があれば周知していきたいとのこと。
- 八重山地方本部から八重山地域の感染状況等について報告。
 - ✓ ここ一週間の発生患者数は、1,306名で、前週比0.81と7月の後半から減少に向かっている。
 - ✓ 年代別は、60歳以上が2割を超えているが、クラスターが落ち着いてきており、下がっていくものと考えている。
 - ✓ 竹富町、与那国町での発生状況は、それぞれ76名、43名となっている。ここ一週間で2回波照間島からの救急搬送があり、負担が大きくなっている。
 - ✓ クラスターについては、高齢者施設、病院、児童養護施設、グループホームの4か所でクラスターが発生しており、現在対応しているところ。
 - ✓ 保健所の体制について、8/1から本日までは県本部からの応援はないが、明日から1名、8月いっぱいまで応援がある。また、県の出先機関から4名動員してもらっている。
 - ✓ 県立病院看護師OB3名から応援をいただき、健康観察の対応を強化している。
 - ✓ 生活環境班、地域保健班の窓口業務について、現在休止中だが、来週から再開することとした。しかし、これから旧盆があり患者急増が懸念されるため、一度再開してから様子を見て対応していく。

(4) 質疑応答など

- ✓ 意見等なし

3 議題事項

(1) BA.5 対策強化宣言等について

➤ 総括情報部より説明

- ✓ 国の対策本部決定内容、事務連絡の要旨として、感染状況の拡大や医療ひっ迫がある都道府県では、「BA.5 対策強化宣言」を行い、住民や事業者への協力要請等を行うといった国の取り組みを決定した。国は、宣言を行った都道府県を「BA.5 対策強化地域」と位置づけ、既存の支援に加えてリエゾン職員の派遣等の支援を行うこと、都道府県独自の宣言等を発出している場合、あらためて「BA.5 対策強化宣言」を発出する必要がないため、「BA.5 対策強化地域」への位置づけを希望する場合には、その旨協議すればよいとしている。
- ✓ 沖縄県では、医療に関しては県独自の「沖縄県医療非常事態宣言」を発出して呼びかけを行っているところだが、感染状況、医療のひっ迫については過去最多の状況となっている。介護施設においてもコロナ患者が1,801人、酸素投与が必要な方が82人入所しており、施設内での感染も深刻な状況となっている。
- ✓ 沖縄県の対応案としては、県独自の「沖縄県医療非常事態宣言」を発出していること、対処方針の変更も検討したが、宣言の乱立や内容に大きな変更がないことを鑑み、国に対しては「BA.5 対策強化地域」への位置づけのみを協議することとしたい。そのうえで、高齢者を守る対策や、イベントの感染防止、来訪者への呼びかけ等対策、ワクチン接種等に取り組み、「BA.5 対策強化地域」指定に伴うBA.5対策を強化することとしたいと考えている。
- ✓ BA.5 対策強化地域指定に伴う取り組みの拡充として、下記のことについて取り組むこととした。
- ✓ 高齢者施設等における早期覚知（定期検査参加率の向上等）。施設内感染を早期に発見するために、医療従事者向け2週間に1回の検査を行っており、この検査への参加率を高める、あるいは抗原検査キットを活用し、検査の間隔を短くし早期覚知できるような対策を考えている。
- ✓ イベントにおける感染防止対策の実効性を高める（当日の県職員による見回り

等)。安全防止対策計画の提出を求めているが、この実効性を高めるため、当日の県職員による見回り、アルコールのチェックを行いエアロゾルでの感染を防ごうと考えている。

- ✓ 県外からの来訪者への呼びかけ強化（事前検査の徹底、薬の持参等による健康管理の徹底等）。疫学統計委員会の報告によると、先週1週間で県外からの来訪者のうち336名が陽性となっており、事前検査の徹底及び薬の持参による健康管理の徹底を強く呼び掛ける。
- ✓ ワクチン接種の推進（県によるアウトリーチ等で接種率の向上）。ワクチン接種については、4回目接種対象者に対して7月末までに60%接種することを目標としていたが、8/2時点で47.1%と達成できていない状況であり、8月末の80%に向けて県によるアウトリーチ等で接種率の向上といった踏み込んだ対策を掲げたいと考えている。

（2）質疑応答など

- ✓ タイトルの、強力な感染力を持ったBA.5を変異株とすると、ケンタウロスに対してもカバーが効くと思われる。また、早期覚知を感染拡大阻止くらいの強い表現がよい。職員、利用者に対するワクチン接種について触れてもよいのかと思う。
- ✓ イベントにおける感染防止対策の実行性を高めるという記載について、基準を満たさないイベント自粛の要請という記載を入れてもらえると心強い。
- ✓ 事前検査の徹底について、旅行開始前の検査としてもらいたい。また、体調不良時の旅行自粛、旅行中の健康管理という表現はどうか。
- ✓ ワクチン接種について、市町村と連携したといった表現にすると良いかと思う。
- ✓ イベントにおける巡回について、どこが主体的に対応を行うのか。
→直近のイベントについては時間もないため、商工労働部と文化観光スポーツ

部で対応する。その後のイベントについては順次相談させていただく。

- ✓ BA.5 対策強化地域の指定について、期限をいつまでとするのか国から確認が来ている。3週間程度を目安と考えており、8/28 までとする形で予定している。
→夏休み期間いっぱいということで、8/31 までして良いかと思う。
→8/31 までと報告する。

閉 会